

PM2.5 への対応について

PM2.5とは、大気中に浮遊している $2.5\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}$ は 1mm の千分の1)以下の小さな粒子のことです。最近、中国におけるPM2.5などによる深刻な大気汚染の発生を受け、日本のPM2.5濃度が上昇し、健康に影響を及ぼすのではないかと心配されています。荒川クリーンエイド・フォーラムでは、環境省の情報に基づき、PM2.5について以下のような対応を推奨します。これを参考に、各団体において対応をご検討ください。

◆荒川クリーンエイド・フォーラムの推奨する対応◆

□1 日平均 $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超～ $140\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下が予想される場合【当日朝 5,6,7 時の平均値が $85\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超】

(当日朝 $85\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超える場合は、1日平均値が $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えることが想定される。)

- ・ 実施を取りやめる必要はありません。
- ・ 参加者に以下の注意喚起を行う。
 - 濃度の状態
 - 呼吸器系・循環器系疾患のある方、小児、高齢者等は影響を受けやすいため、注意すること
- ・ 参加者に事故等が起こった場合に備え、医療機関、対応スタッフ等対応方法を検討しておく。
- ・ 一般用マスクの配布も検討する。(ただし、吸入防止効果は種類により異なります。)

□1 日平均 $140\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えることが予想される場合

- ・ 実施を取りやめる ※これまでに1日平均が $140\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えたことは一度もない。(2015.3.5 現在)

>> PM2.5 濃度を知るには (速報値)

そらまめ君(環境省大気汚染物質広域監視システム) <http://soramame.taiki.go.jp/index.php>

>> PM2.5 に関する参考情報

政府広報オンライン「PM2.5」による大気汚染 <http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/5.html>

微小粒子状物質(PM2.5)に関するよくある質問(Q & A) <http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info/attach/faq.pdf>

マダニへの対応について

マダニは、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)等の感染症を媒介します。2015年2月までに、西日本の15県から5～8月を中心に110人のSFTS患者が報告されていますが、他県でもSFTSウイルスを保有したマダニが見つかっています。荒川クリーンエイド・フォーラムでは、厚生労働省の情報に基づき、以下の対応を推奨します。これを参考に、各団体において対応をご検討ください。

◆荒川クリーンエイド・フォーラムの推奨する対応◆

【参加者への注意喚起】

- ・ <事前・現場で> 腕、足、首など肌を露出しないような服装を徹底する。
- ・ <活動後の対応> 上着をそのまま家の中に持ち込まない、入浴時等に肌にダニが付いていないかチェックする。
※マダニは、血を吸っていない状態で2～3mm、吸血すると1cm前後となる。
- ・ <咬まれた場合の対処> 皮膚科で処置してもらう。

【準備】

- ・ 虫除け剤の使用を検討する。(一般的な虫除け剤で、ツツガムシ、マダニ等の標記のあるもの)

>> マダニ、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関する参考情報

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts.html>

「マダニ対策、今できること」(NIID国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>

デング熱への対応について

デング熱の原因となるデングウイルスは、デング熱に感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。感染してもすべての人に症状が出るわけではありませんが、高熱や関節の痛み、目の奥が痛くなるといった症状が1週間から2週間ほど続きます。

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、厚生労働省の情報に基づき、以下の対応を推奨します。
これを参考に、各団体において対応をご検討ください。

◆荒川クリーンエイド・フォーラムの推奨する対応◆

【参加者への注意喚起】

- ・<事前・現場で> 腕、足、首など肌を露出しないような服装を徹底する。
- ・<症状が出た場合の対処> かかりつけの医療機関などを受診する。

【準備】

- ・虫除け剤の使用を検討する。

>> デング熱に関する参考情報

- ・デング熱とは(NIID 国立感染症研究所)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ta/dengue.html>

熱中症への対応について

熱中症は、高温多湿な環境に、私たちの身体が適応できないことで生じるさまざまな症状の総称です。めまいや立ちくらみ、顔がほてるなどの症状が出たら、熱中症のサインです。一時的に意識が遠のいたり、腹痛などの症状が出る場合もあります。

もし熱中症かな?と思うようなサインがあったときは、**すぐに応急処置を行い、病院などの医療機関へ連れていきましょう。**
処置としては風通りのよい日かげに移動し安静にします。衣服をゆるめて、両側の首筋やわき、足の付け根などを濡れタオルで冷やします。皮ふに水をかけてうちわなどであおぐことでも体を冷やすことができます。できれば水分と塩分を同時に補給できるスポーツドリンクなどを飲ませると良いでしょう。

◆荒川クリーンエイド・フォーラムの推奨する対応◆

【事前確認】

- ・携帯型熱中症計やテレビ、Webなどで公開されている熱中症指数で、熱中症の危険度を確認する。

【参加者への注意喚起】

- ・<事前・現場で> 適度な水分と塩分の補給をおこない、こまめに休憩をとるようにする
- ・<症状が出た場合の対処> すぐに応急処置を行い、病院などの医療機関へいく。

>> 熱中症に関する参考情報

- ・熱中症の予防・対策(日本気象協会推進)
www.netsuzero.jp/learning/le02
- ・熱中症予防情報サイト(環境省)
http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_checksheet.php